

淡水魚類



生育地
平野部の小川やため池

サイズ
体長 約6cm

撮影: 梅村諄二

カワバタモロコ★市天然記念物

限られた地域に生息している。産卵期は5月～7月で、婚姻色のオスは体色が黄金色になる。



生育地
平野部の池沼や細流

サイズ
体長 約5cm

撮影: 梅村諄二

ウシモツゴ★市天然記念物

かつては西部に多数生息していた。産卵期は4～6月で、婚姻色のオスは黒くなり、白い突起物ができる。

軟体動物



生育地
川沿いや林道周辺、社寺林の樹上

サイズ
殻高 21～22mm

撮影: 川瀬基弘

ハコネマイマイ

樹上性のマイマイ。乾燥時は葉裏や幹枝にくっついて休み、湿度が高い時は活発に活動する。



生育地
河川の下流域や平野部の用水路、ため池等

サイズ
殻高 約10cm

撮影: 川瀬基弘

ミナミタガイ

流れが緩やかで、比較的水質の良い場所を生息場所とする。河川改修等の影響により、個体数が減少している。

菌類



生育地
樹林内

サイズ
かさの直径 6～20cm

撮影: 木村修司

タマゴタケ

夏から秋にかけて発生する。ひだ、柄、つばが黄色となっているのが特徴。毒々しい見た目に反して食用となる。



生育地
アカマツ林

サイズ
かさの直径 8～20cm

撮影: 木村修司

マツタケ

夏から秋にかけて発生する。かさは球形からまんじゅう形を経て、平らに開く。きのこの王様として知られる。

豊田市の希少な生き物

豊田市では、これまでに行われた調査で、

約13,000種の生き物が確認されています。

その中には、絶滅のおそれがある希少な生き物も数多く含まれます。

本リーフレットでは、その希少な生き物のうち、身近なところでも見られる種を紹介します。

たくさんの生き物が暮らす豊かな自然を守るために、

まずは自分にできることを考えてみましょう。